

滝田公一教授のご退職にあたって

経営学部長 小本恵照

本学部で教鞭をとられてきた滝田公一教授が、今年度をもって定年を迎えられご退職されることになりました。これまでの先生のご活躍と学部への多大なる貢献に対して、一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

滝田先生は1949年11月29日、栃木県でお生まれになられました。その後、慶應義塾大学経済学部をご卒業され、同大学院経済学研究科に進学されました。大学院で博士課程の単位を修得された後、1981年4月、駒澤大学経営学部助手として赴任されました。それ以来、39年にわたり教鞭を執られました。その間に、講師、助教授、教授と昇格されました。研究面では、先生のご専門は数理経済学で、数学、ゲーム理論、シミュレーションといった手法を用いて、種々の経済現象を理論的に解明されてきました。分析対象は、公害問題、脱税、税制、ゴミ処理、カルテルなど多岐にわたっています。教育面では、「産業組織論」「経済学概説A・B」「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「新入生セミナー」といった科目を担当され、経営学やマーケティング論を学ぶ上での基礎となる経済学教育を中心にご尽力されました。

教育・研究面でのご活動だけではなく、先生には学部の運営面でも多大な貢献をいただきました。1997～1998年度には第2部経営学科主任、1999～2000年度には経営学科主任、2005～2006年度には経営学科フレックスA主任、2007～2008年度は学部長、2015～2016年度は大学院委員長を歴任されました。その間には、市場戦略学科の新設といった大事業もあり、学部の発展に大きなご貢献をいただきました。定年を迎えることとなりました今年度も、経営学部創立50周年記念事業をはじめとする多くの学内業務にご尽力くださったことに感謝申し上げる次第です。また、明るいご性格の先生の周りでは会話が弾むことも多く、ご退職されることは残念な限りです。

このように改めて先生の足跡を振り返りますと、本学および本学部に対す

る先生のご功績が多大であったことわかります。本当にありがとうございました。先生の今後の益々のご活躍と健勝を心からお祈りするとともに、本学部へのご教示やご鞭撻を引き続きお願いしたいと思います。